

知事コメント  
(CH-53Eの飛行再開について)

本日10時42分、普天間飛行場において事故機と同型機の飛行が再開されたことを確認しました。

県は、今回のCH-53Eの不時着、炎上事故に関し、事故原因の徹底的な究明と公表、実効性のある再発防止策が講じられるまでの同型機の飛行中止を求めてきたところであります。

それにもかかわらず、原因究明や再発防止策などの説明を行うことなく、昨日、一方的に飛行再開の通知を行い、飛行再開を強行した米軍の姿勢は断じて容認できず、言語道断であります。

県としては、今回の米軍の一連の対応及び飛行再開に強く抗議するとともに、米軍のこうした対応を許した日本政府の当事者能力に対しても疑問を禁じ得ず、政府の責任において、このような米軍の暴挙に対し、県民の生命と財産を守るべく、納得のいく対応を行うよう強く求めます。

平成29年10月18日

沖縄県知事 翁長雄志